

一般社団法人日本心エコー図学会
第13回認定専門技師試験実施要項
【試験免除有資格者は「(一部試験免除)試験実施要項」を参照すること】

1. 試験日程 一次審査 書類審査
二次審査 平成30年11月4日(日)(予定)
三次審査 平成31年1月27日(日)(予定)
2. 試験会場 二次審査 大阪(予定)
三次審査 大阪(詳細は二次審査後発表)
3. 受験資格 1) 認定専門技師としての必要な実務経験
 - ① 8年以上の心エコー図検査実務経験を有すること
 - ② 専門的心エコー図検査経験(※)を50例以上有すること※専門的心エコー図検査経験とは、「経食道心エコー図検査」、「負荷心エコー図検査」、「冠動脈血流検査」、「コントラスト心エコー図検査」の何れかに携わる経験であり、経食道心エコー図検査は3例以上必要とする

 - 2) 資格と業績
 - ① 一般社団法人日本心エコー図学会の会員であり、応募締切日において、休会期間を除く会員歴(年会費を完納した年数)が5年以上であること
 - ② 日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器または血管領域)であること
 - ③ 一般社団法人日本心エコー図学会学術集会において、査読を通じて採択された一般演題の筆頭演者としての発表が過去に1回以上あること
 - 3) 一般社団法人日本心エコー図学会の代議員もしくは認定専門技師の推薦書を提出すること
 - 4) 平成30年度年会費を完納していること

※一般社団法人日本心エコー図学会の前身である任意団体の日本心エコー図学会での資格と業績を含むものである4. 試験方法 試験は一般社団法人日本心エコー図学会認定専門技師制度委員会が行う
一次審査 書類審査
二次審査 筆記試験(動画問題を含む)
三次審査 面接試験・実技試験(被験者は健常者)
※それぞれの審査に合格した者のみ、次の審査を受けることができる
5. 申請受付期間 平成30年5月1日(火)～5月31日(木)消印有効
6. 申請方法 1) 学会ホームページ「会員専用ページ」から受験の申請を行う
Top[会員専用ページ]>会員ログイン>認定専門技師試験 受験申請
入力する項目)
学会名簿の登録内容:変更があれば修正すること
申請者:職名
推薦者:区分、氏名、役職名、所属機関名
日本心エコー図学会での発表:学術集会名、発表形式、発表年月日、発表演題名
日本超音波医学会認定超音波検査士資格:領域、RMS、登録番号、有効期間
自施設での検査情報:※使用している機器(メーカー名)、アプローチ位置等
※試験申請者が自施設で心エコー図検査時に使用している機器であり、複数ある時には

すべてを記載する。実技試験時の使用機器は必ずしも記載したメーカー機器になるとは限らない

2) 申請書類をホームページからダウンロードし、指定部数を揃えて宅配便か書留郵便、レターパックプラスで送付する(普通郵便不可)

送付先) 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4 丁目 3-12 明幸ビル 5F

一般社団法人日本心エコー学会事務局

認定専門技師試験係

※【重要】事務局は受理した書類を返却しない

※【重要】試験申請者は提出書類の控え一式を5年間保存し、一般社団法人日本心エコー学会から提出の指示があった場合は速やかに提出すること

7. 申請書類の提出方法と注意事項

試験免除有資格者は「(一部試験免除)試験実施要項」を参照すること

「11.その他の注意事項」は必ず確認すること

(1) 認定専門技師試験申請書

【様式 1】を用いて提出

提出方法 原本 1 部

注意事項「申請者氏名」は自筆であること

(2) 申請者推薦状(代議員もしくは認定専門技師の推薦)

【様式 2】を用いて提出

提出方法 原本 1 部とコピー 1 部

注意事項「最終学歴及び職歴」欄には○年○月まで正確に記入すること

(3) 経胸壁心エコー図検査の症例一覧表(50 例)

【様式 3】を用いて提出

1) 申請者が自ら検査を行い、経胸壁心エコー図レポート(報告書)に記載した症例一覧表(以下、症例リストという)(50 例)

提出方法 データを印刷した用紙 2 部、またはデータを保存した CD-ROM 2 部

注意事項 症例リストには次の①～⑩までの 10 疾患・病態を最低 2 例ずつ含むこと

① 僧帽弁疾患 ② 大動脈弁疾患 ③ 虚血性心疾患 ④ 先天性心疾患

⑤ 人工弁 ⑥ 心膜炎・心膜液貯留 ⑦ 心筋症 ⑧ 心房細動 ⑨ 心不全

⑩ 肺高血圧症 ⑪ その他

* 症例リスト作成の注意

・症例が該当する疾患・病態に○印を付記すること(○印を付記した疾患・病態に基づいて、次項 2) のレポート(報告書)提出が指定され、審査される)

・1つの症例が複数の疾患・病態を有する際には、臨床的に重要である疾患・病態のみを選択し、1つの症例に付記する○印は少なくすること

(例) 病態に無関係な軽度の僧帽弁逆流の存在は僧帽弁疾患には含まれず、○印を付記しない

2) 10 例の経胸壁心エコー図レポート(報告書)の写し(コピー)とその画像

提出方法 データを印刷した用紙 2 部、またはデータを保存した CD-ROM 2 部

・提出された経胸壁心エコー図検査の症例リストから、後日、認定専門技師制度委員会が 10 症例を指定するので、指定された 10 症例の経胸壁心エコー図レポート(報告書)の写し(コピー)と画

像を提出すること

- ・提出方法等については、6月末日までにメールで通知する
 - ・レポート提出期間は、通知後、約2週間程度である
 - ・経胸壁心エコー図レポート(報告書)は、実際に診療で使用されている診療補助記録であり、この試験のために新たに作成されたレポート(報告書)ではないこと
 - ・経胸壁心エコー図レポート(報告書)には、申請者本人が検査を行い、その記載に関与したことを証明する記名(署名でなくてよい)が残っていること
 - ・申請者本人が検査を実施し、経胸壁心エコー図レポート(報告書)を記載したことを、検査室の管理責任者が証明する書類(【様式3-2】)を添付すること
 - ・同時に提出する画像は、症例の診断に有用と思われる5から10の静止画像ならびに動画像(AVIやMPEG画像など一般的なPCで再生できるファイル形式)を準備すること
 - ・レポートや画像の個人情報の取り扱いには十分に配慮すること(提出するレポートや画像は個人情報保護の観点からすべて匿名化し、各施設の個人情報取り扱い要項などに準拠し、対応すること)
- (*)患者氏名、ID、生年月日、実施施設名などは個人情報とみなされ、減点の対象となる
- ・画像ファイルのファイル名は半角英数字に限る

(4) 専門的心エコー図検査実績証明書

【様式4】を用いて提出

提出方法 原本1部とコピー1部

注意事項 申請者が専門的心エコー図検査に当該期間従事していたことを、検査室の管理責任者が証明すること
申請者本人による証明は不可
検査実施機関が2施設以上に及ぶ場合は、施設毎に実績証明を提出すること

(5) 専門的心エコー図検査実績一覧表(50例)

【様式5】を用いて提出

提出方法 データを印刷した用紙2部、またはデータを保存したCD-ROM2部
実績一覧表には、①症例番号、②年齢、③性別、④検査年月日、⑤検査実施医、⑥検査種類(検査法コード)、⑦疾患名と検査目的、を記載すること
(申請者のみで行った検査では⑤は斜線を引くこと)
No.1-10は次項(6)に該当する専門的心エコー図検査の10例を記入すること

(6) 10例の専門的心エコー図検査(必ず経食道心エコー図検査3例を含む)の実施記録、あるいは実施記録に代わる書類(※)

【様式6-1】ないしは【様式6-2】を添付して提出

提出方法 データを印刷した用紙2部、またはデータを保存したCD-ROM2部
(提出に際して、レポートや静止画像並びに動画に個人情報が記載されている場合、取り扱いには十分に配慮すること)

注意事項 提出する各レポート(上部余白)に前項(5)の一覧表に記載している症例番号を記入すること
受験申請者および検査実施医の氏名にマーカーで印を入れること

※実施記録とは、申請者が専門的心エコー図検査に携わったことを記録したものをいう

①ないし②のいずれか一方を提出すればよい

(専門的心エコー図検査では、申請者が医師の補助として検査に携わる場合があるため、実施記録は申請者が実際に検査に参加し、関与したことを証明する書類とする)

①申請者の氏名が記載された専門的心エコー図検査レポート(報告書)の写し(コピー)

注1) レポート(報告書)は、実際に診療で使用されている診療補助記録であり、この試験のために新たに作成されたレポート(報告書)ではないこと

注2) 検査を実施した医師(あるいは施設の診療情報管理者)による真正性の証明(【様式6-1】)を添付すること

②専門的心エコー図検査の実施が確認でき、かつ申請者の氏名が記載されたカルテ(診療録)部分の写し(コピー)

注1) 検査中のバイタルサインの記録等、が該当する

注2) 検査を実施した医師(あるいは施設の診療情報管理者)による真正性の証明(【様式6-1】)を添付すること

※実施記録に代わる書類

①②のいずれも提出できない場合は、経過措置として次の書類の提出を認める

③申請者の氏名が記載されていない専門的心エコー図検査レポート(報告書)の写し(コピー)

注) 検査を実施した医師(あるいは施設の診療情報管理者)により、検査に申請者が参加していたことの証明(【様式6-2】)を添付すること(検査1件ごとに証明書類1枚を添付する)

(7) 提出物チェックシート

【様式7】を用いて提出

申請書類を提出する際に必ず「提出物チェックシート」に確認結果を記入して提出すること

「提出物チェックシート」の提出がない場合は、書類不備のため申請を受理しない

すべてにチェックがない場合は、不備とみなされる

(8) 受験票貼付用写真：縦4センチ・横3センチ程度

提出方法 1枚

注意事項 正面・脱帽で本人が確認できること

※写真はいかなる場合も返却しない(不要の場合は事務局にて適切に処分する)

(9) 日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器または血管領域)認定証の写し(コピー)

提出方法 コピー2部

注意事項 現在有効な認定証

8. 審査料 20,000円 納付期限までに、必ず申請者本人の名義にて下記口座に振り込むこと

納付期限 5月31日(木)

振込先 三菱UFJ銀行 新大阪支店(しんおおさかしてん)

普通預金 0192415 一般社団法人日本心エコー図学会認定専門技師

※納付された審査料は理由の如何を問わず一切返金しない

9. 審査結果 一次審査 平成30年10月1日までに書面にて通知する

二次審査 平成30年12月15日までに書面にて通知する

三次審査 平成31年3月15日までに書面にて通知する

※三次審査に合格した者は、期日までに認定料を指定された口座に振り込み、所定の認定手続をとること

10. 認定料 10,000 円

11. その他の注意事項

- ①【重要】申請書類の記入漏れ、データの不備等があった場合については、事務局より申請者に連絡し、一回に限り、書類の再提出を認める。ただし、原則として申請書類の記入漏れ、データの不備等のないように十分に確認すること
- ②【重要】最終的に申請書類に記入漏れ、データの不備があった場合は申請書類を受理しない
- ③【様式 3】、【様式 5】、専門的心エコー図検査の実施記録(10 例)のデータは同じ CD-ROM に保存し、表面に氏名を記載すること
 - ・2 枚にわたる場合もそれぞれに氏名を記載すること
- ④事務連絡はメールで行うので、メールアドレスの変更は速やかに事務局へ届けること
 - ・届け出の際は、認定専門技師試験申請者である旨を追記すること
 - ・共有アドレスの場合はその旨を個人票のメールアドレス欄に追記すること
- ⑤受験票は、一次審査終了後、審査結果と共に送付する
 - ・10 月 15 日までに届かない時は事務局まで問い合わせること
- ⑥判定基準、試験範囲・レベルについては一般社団法人日本心エコー図学会ホームページを参考にすること
- ⑦レポートや画像の個人情報の取り扱いには十分に配慮すること
- ⑧提出された書類は、いかなる場合も返却しない